

NPO法人 段畑を守ろう会

この景観を残すために

平成12年に地域住民らで結成。段畑でこれほどの広さが残っているところは全国でも珍しく、「なんとかこの景観を残せないか」と考えたのがきっかけでした。

「重要文化的景観」に選定されて10年が過ぎ、今となっては見慣れた段畑の景観。しかし、それを維持していくためには想像を超す手間と時間がかかります。雨が降れば石積みが崩れることがあり、過去には年間で50カ所も崩れたことがあります。そのたび、石を運び手作業で積み上げるなど地道な取り組みが必要になります。

今年の4月には、これまでの環境保全活動が認められ、「みどりの日」自然環境功労者環境大臣表彰の保全活動部門に選ばれました。

「現在、会員の中で一番若い人は65歳。後継者がいないので、私たちが活動できなくなれば景観の維持が難しくなってくるかもしれない」と理事長の山下さんは話していました。

景観保全活動以外にも、食事処「だんだん茶屋」を整備し、地元でとれた食材を使った食事を提供しています。そのほかにも夕涼み会やいもたきなどさまざまなイベントを企画し、遊子地区を盛り上げていきたいと話してくれました。



遊子段畑夕涼み会

【と き】 8月11日(土) 午後6時～9時(雨天中止)
 【内 容】 遊子水荷浦の段畑を、千本の竹灯籠で照らします(先着20人)。
 【問合せ先】 段畑夕涼み会実行委員会(遊子公民館)
 ☎62-0850